



CLUB NEWS

vol.
1171
2018・2019
MEETING

2018-2019年度国際ロータリーテーマ／インスピレーションになろう

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「会員の仕事をもっと知ろう。そして親睦を深めよう。」



〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200
例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------------------|
| ■ 会長 中川 清美 | ■ 職業奉仕 小林 敏郎 | ■ 副幹事 相川 博昭 |
| ■ 会長エレクト 伊藤 和子 | ■ 社会奉仕 長橋 正人 | ■ 会計 佐藤 吉信 |
| ■ 副会長 朝倉 克尚 | ■ 青少年奉仕 長谷川 淳 | ■ S A A 新沼 悟 |
| ■ 直前会長 奥山 宏 | ■ 国際奉仕 安藤 英男 | 国際ロータリー会長 パリー・ラシン (バハマ) |
| ■ クラブ管理運営 金子 将人 | ■ 幹事 本間 雅之 | 第2800地区ガバナー 上林 直樹 (酒田中央) |
| | | 第5ブロックガバナー補佐 白田 廣司 (山形東) |



インスピレーションになろう

◆日時／2018.9.25 18:30 ◆例会場／アランフェス

会長挨拶



皆さん今晚わ、今日はちょっと場所をかえてのお月見の会です。親睦委員長の阿部さん初め委員会の皆さんご苦労様です。九月ももう終わりだと言うのに皆さんと会うのがなんか懐かしく思います。

今月は通常例会は初めに一回しただけなんです外にででの行事が多くそんな気がいたします。先日はふれあい芋煮会そして私は山形市の大イ

ベントの大なべの芋煮会へと出席して参りました。なんと今年で30周年となったといっていました。そして鍋太郎も三代目になるそうです、直径6.5メートルで日本一になったようです。

今日は、せっかくのお月見会ですがあいにくの雨空になりましたが会員の中にはお月さんと似た方がそれぞれのテーブルに居るのでので眺め励ましながら阿部さんが用意してくれました美酒をご堪能したいと思います。皆で頂きましょう。

お月見の会

秋の夜長に「ワイン」と映画音楽の協奏

会場：喫茶アランフェス 絵画と音楽を楽しめる

GUEST LIVE

山形交響楽団チェロリストとピアニストによる映画音楽の協奏

お食事・お飲物

クロ・ド・シャルム 阿部シェフによる おまかせディナー&ワイン

阿部委員長セレクト 究極の日本酒飲み比べ



本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	42名	—	24名	—
修正出席	42名	40名	40名	100%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形南) 金子昌弘 鹿野淳一 海谷靖夫			





〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200
例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) **会場** ホテルメトロポリタン山形

■ 会 長 中川 清 美	■ 職 業 奉 仕 小 林 敏 郎	■ 副 幹 事 相 川 博 昭
■ 会 長 選 任 伊 藤 和 子	■ 社 会 奉 仕 長 橋 正 人	■ 会 計 佐 藤 吉 信
■ 副 会 長 朝 倉 克 尚	■ 青 少 年 奉 仕 長 谷 川 淳	■ S A A 新 沼 悟
■ 直 前 会 長 奥 山 宏	■ 国 際 奉 仕 安 藤 英 男	■ 国 際 奉 仕 本 間 雅 之
■ クラブ管理運営 金 子 将 人		■ 国 際 奉 仕 本 間 雅 之

国際ロータリー会長 パリー・ラシン (バハマ)
 第2800地区ガバナー 上林 直樹 (酒田中央)
 第5ブロックガバナー補佐 白田 廣司 (山形東)



インスピレーションになろう

◆日時／2018.10.2 12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／国歌・奉仕の理想

会長挨拶



今日は卓話に新会員の柴田君の話聞いてもらいます、後で宜しくお願いします。そして又、皆さんにお祝いの報告があります。それは石山会員が先日のゴルフ練習会でホールインワンをしたという事です。一般に12000回に1回といわれているのですが、見事に入ってしまったのです。年内にお祝いコンパが有るそうですので皆でお祝いしましょう。

今日の私の話は長期優良住宅の話になります。

長期優良住宅 補助金100万円

皆さん長期優良住宅って聞いた事ありませんか、分かりやすく言うところの建物は長持ちするし絶対安心だよという国土交通省のお墨付き物件だよ厳しい基準をクリアした物件だけが認められます。実際に構造躯体は100年使用できるし、大きな地震が来ても壊れない、将来の間取り変更もしやすい、などなどさまざまなことが保証されています。もちろん節税のメリットもあります。そもそも長期優良住宅に関する法律が施行されたのは2009年国土交通省から発表されました、君は間違いなく長持ちする住まいだよと認められた物件です。

認定基準として、

- ・構造躯体の体耐久性 100年 ・劣化しやすい内装や外壁、途中でリフォームすることが前提
- ・耐震性、メンテナンスのしやすさ、リフォームのしやすさ、バリアフリー対策
- 省エネ、居住環境、居戸面積、維持保全計画これらが10年ごとに点検を行います。面倒になるのがメンテナンスしかし時期が決められているのでやらないでやらないで得ません。

メリット

- ・所得税の住宅ローン減税、所得税の投資型減税
- ・登録免許税の軽減、不動産取得税の軽減
- ・固定資産税の軽減などがあります
- ・ただし、購入時期や暮らし始めた時期により内容が変わってきますので国税庁のHPで確認してください。

デメリット

- ・一言で言う時間とコストがかかること
- ・建てるのに時間がかかる、申請するにコストがかかる
- ・建ててからのコストもかかる、建てるのにコストがかかる
- 優良住宅の基準に合わせれば当然それなりのコストはかかります、何もない家よりはランニングコストが高くなるのは間違いありませんが、こういった建物も在りますという事です。



丹野秀樹／柴田さん卓話ありがとうございます。今度ぜひツーリング行きましょう。先日、お月見の会で大変豪華な松茸いただきありがとうございました。家族で松茸パーティやりました。

相川博昭／柴田さん卓話ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

金子将人／9/30(日)美・中川工務店様の取引業者親善コンパにて人生初めてのベログロ優勝させていただきました。いっばいの賞品ありがとうございました。

中川清美・本間雅之／柴田修英様、新会員卓話ご苦労様でした。会社のお仕事の話、勉強になりました。ありがとうございました。



誕生日 相川博昭

企業創立記念日

森 賢一 三井住友海上火災保険(株)
 鹿間慶彦 (株)モーターレンヤマガタ
 朝倉克尚 朝日ビル(株)

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	42名	—	21名	—
修正出席	42名	33名	30名	90.91%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形北) 金子昌弘 川合勝芳 横川恵三 長谷川淳 鹿野淳一 (山形東) 伊藤和子 鹿野淳一			



新会員卓話 柴田修英 会員

入会させていただいて約半年です。まだ私のことをわからないと思いますので、自己紹介をさせていただきます。

柴田修英といいます。珍しい名前、同じ名前の人と会ったことは1度もありません。高校で初めて自己紹介をした時に担任の先生からお前はお寺の息子かと言われ、恥ずかしかったこともあり、今でもあまり好きな名前ではありません。5年前に松原から引っ越して、今は山形市南原町に住んでいます。家族は妻と息子二人、娘二人がいます。長男と一緒に仕事をしており、次男は仙台に就職しました。自宅で妻と娘二人と私の4人暮らします。仕事は上市市で塗装業をしています。従業員6名程度の小さな事業所で個人経営です。生まれも育ちも山形市でこの間52歳になりました。私の父は普通の会社員で51歳に仕事、交通事故で亡くなっており、自分が51歳の間すごく複雑な感じで、早く52歳になりたいと常々思っていました。気のせいかもしれませんが、52歳になる前の1年間体の異常が出てきたり、従業員が現場で怪我をしたり、従業員同士の人間関係のトラブルがあったり、さまざまことが続き、やっと52歳を迎えることができほっとしています。嫌なことの後には良いことが必ず来ると思い頑張っています。次に仕事の塗装関係の話をしてみたいと思います。

塗装といってもいろんな分野の塗装がありますが、私がやっている塗装の仕事は建築塗装になります。主に住宅、アパート、マンションの塗り替え工事、住宅の新築時の塗装工事がメインになります。新築住宅は塗装することが年々少なくなり、たまに内装をクロスではなく塗装にこだわっている施主様から依頼がありますが、多くはありません。20代後半の若い人が家を建てる時代ですので和室の無い家が増えています。その為、和室の柱にクリアー塗装をすることも減り、新築住宅の塗装より塗り替え工事が大半を占めています。私の所では下請け半分元請け半分ぐらいの受注で、私が営業マンとしてお客様と打ち合わせをすることもあります。お客様との外壁の色の打ち合わせが好きで、この家をどのような色にするか考えるだけでワクワクします。

2つのカラーシミュレーション提案方法は、従来はフォトショップなどで壁の色を変え、5パターン程度プリントアウトをし、2つ程度選んでもらい、A4版の見本板を作成し打ち合わせをしていたのですが、PC画面とプリントした物と色が違って見えたり、メールでお客様とのやり取りでPCが違っていると色が違って映ったりで大変でした。最近では、カラーシミュレーションクリアシートというものを使って打ち合わせすることで、簡単に色を変えて確認できるようになり、お客様も家族全員で意見を出せるので大変よいと喜ばれています。相川社長に1年ほど前ホームページを作成して頂き、その際にCOLORSという名前でブランド化しました。色にこだわりを持って他社との差別化をしたほうが良いとアドバイスを受け、価格競争の激しい業界ですので価格のサービスは程々にして、仕上がり感、お客様が満足できるようなことができれば良いと日々奮闘しています。

ペンキ塗りというと、ホームセンターに行くとかわかりますが、ペンキがたくさん売られています。ペンキだけではなく、刷毛、ローラー、養生シート、おまけに漆喰等、特殊なものまで沢山あります。楽しみながら素人の人たちが塗れるのがペンキ塗りです。私たちはお金を頂いてペンキ塗りをしている訳ですから、日々技術の向上を目指して職人達も努力しています。

素人のペンキ屋はたくさん存在しており、技術の差、知識の差がかなりあります。よくあるのが、キッチンのカウンター等塗る際に通常は水に強く摩擦にも強いウレタンクリアーを塗るのですが、本当は4回塗りするのを2回塗りしかせず、下塗りに乾燥が早いクリアーラッカーを1回厚塗りし、ウレタンクリアーを1回塗りする、そんな業者が

沢山存在します。そうすると、熱いものを上に置いた場合クリアー部分が白くなり後で剥離してしまいます。塗りたての時は、比べなければ気づきませんが、時間がたてば誠実な工事なのか、手抜き工事なのか、それを正解だと思って工事をしている業者なのか、後々塗装がボロボロになるケースは何度も見えています。塗装する物によって適正な手順で適正な塗料を使わなければ長持ちしません。誠実ではない業者が沢山いるのも塗装業界の実情です。塗料にはたくさんの種類があり、塗装する物によって使い分けが必要なので、沢山の塗料を用意しなければいけません。例えば、モルタル壁に塗る下塗り、窯業系ボードに塗る下塗り、木部に塗る下塗り、各種仕上げ材、それぞれの色とたくさんの塗料を用意します。塗料メーカーも次々と新商品を出してくるので使えなくなる在庫が増え、捨てるにもコストがかかるため倉庫の中はどんどん手狭になり困っています。

最近、専門業者でない人がDIYで自分で作ったり修繕するのが流行っており、インターネットでユーチューブを見ると様々な仕上げが出ています。我々プロの塗装会社でもやったことの無い仕上げ方法等がいっぱいびっくりします。A4版の板に錆に見えるように作ってみました。表現しようとする中々難しく、専用の錆風にする塗料を使えば簡単にできるのかもしれないのですが、それではプロじゃないと思い、余っている塗料でやってみました。失敗に終わりました。実際に挑戦することが大事であり、失敗して学ぶほうが成功して終わるよりはるかにいい経験になると思います。

塗料の寿命を左右しているのが樹脂で、一般には油性ペイント、合成樹脂ペイント、アクリル樹脂ペイント、ウレタン樹脂ペイント、シリコン樹脂ペイント、フッ素樹脂ペイント等が代表的で、フッ素樹脂が1番高価で対候性もよいです。最近、フッ素樹脂塗料と無機のハイブリッド塗料なども開発されて、フッ素の良いところ、無機の良いところ取りの塗料もあります。フッ素といえばフライパンなどの加工などが有名で油がなくても焦げ付かず料理ができる、汚れが付きにくい素材です。又無機質といえばコンクリートや石、生命が宿らないものとされています。無機物は鉱物などのことで、日の光を浴び続けてもあまり劣化しません。例えば、石などは長年太陽にあたり続けても多少色落ちなどしても、樹脂塗料の様にボロボロにならないりません。開発されて間もない無機、有機ハイブリッド塗料なので数年後いいことばかりではなくダメな面も見えてくると思います。屋根の塗料などは、シリコン樹脂塗料が主流で、各メーカーで多少違いはありますが、耐用年数は6年～8年といわれています。錆止め+中塗り+仕上げ塗り3工程での耐用年数なので、山形県内のほとんどの塗装会社は、トタン屋根の塗装工事の際仕上げ塗り1回という工程なので6～8年も持つわけがありません。それが当たり前になってしまい、3回塗りの見積もりをお客様に提示すると高いと言われることもあります。その時は説明をして、それでも1回塗りでいいという場合は、保証は付けられないと伝えていきます。周りに合わせたやり方をしないと顧客確保が難しいのが現状です。雪国なので屋根塗装のスパンを短く低価格で雪が滑るようにという考えなのかもしれません。

口下手な私はお客様に説明する際色々な道具を使います。今日は遮熱塗料という実際に触って温度を体感できる道具を用意しました。10年ほど前に購入した物なので今はもう少し遮熱性能が上がっていると思います。部屋の中では37℃の日に35℃くらいに感じる事ができる程度だと思います。しかも、屋根だけ遮熱にしても外壁も遮熱、又は、断熱塗料を施工しなければあまり効果がでるとは思いません。もし、屋根を遮熱にするのであれば、外壁に断熱塗料、内窓(二重サッシ)でLow-Eガラス等で遮熱、断熱をするべきだと思います。

塗料は日々良い塗料が開発されていて、施工側も技術講習会等に参加して、性能を十二分に活かせるようにしています。年配の職人さんは、技術はあっても新しい商品を取り入れない傾向にあります。今は技術だけではなく知識を学んで、お客様に説明できるようになる必要があります。間違った知識で施工してしまい、塗装屋なんて誰でも出来ると言われないう、プロとしてプライドを持って、もう少しハードルを塗装業会全体で上げていかないといけない気がします。